

旭川廃棄物処理センター維持管理状況の情報公表

設置者名	株式会社 旭川振興公社 代表取締役社長 赤岡 昌弘
施設名称	旭川廃棄物処理センター
設置場所	旭川市江丹別町共和279-2
問合せ先	(0166) 63-4153

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

* 第3期管理型最終処分場

1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項	別添 設置許可証のとおり
--	-----------------

2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
施行令第7条第14項 ロ及びハ	安定型及び管理型の産業廃棄物の最終処分場	以下のとおり

イ 埋め立てた産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(状況：令和6年度分(単位：t))

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃 え 殻	119.88	132.89	124.26	163.24	162.51	132.81	139.08	156.10	148.98			
ば い じ ん	21.57	20.71	20.71	37.53	21.61	20.39	23.85	26.39	20.32			
汚 泥	170.97	73.33	162.37	113.72	244.73	54.80	424.44	341.73	69.89			
紙 く ず	2.10	2.50	2.12	1.22	2.82	2.14	2.09	2.70	4.04			
織 維 く ず	21.23	22.28	27.35	33.14	31.92	23.12	43.29	35.10	46.64			
石 膏 ボ ー ド	120.46	107.79	205.83	122.31	131.28	116.07	169.03	138.95	248.31			
廃 石 綿	0.00	1.21	6.61	9.44	0.04	0.02	0.00	11.21	0.00			
シュレッダー ダスト	74.82	48.24	88.46	108.27	127.83	118.07	92.63	96.80	66.51			
選別不能物 (混合物)	169.11	159.19	220.48	297.86	227.56	331.46	284.97	326.74	265.59			
廃油(タールピ ッチ類に限る)	6.38	2.02	11.60	13.95	10.33	7.87	11.76	7.97	39.93			
窯業系サイデ ィ ン グ	53.87	63.30	78.81	90.50	85.51	63.80	112.55	63.86	107.69			
が れ き 類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
石綿含有産業 廃棄物	6.12	3.75	10.90	3.53	13.81	14.85	26.59	24.45	17.03			
計	766.53	637.21	959.50	994.71	1,059.95	885.40	1,330.28	1,232.00	1,034.93			

ロ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第七号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項 目	点検を行った 年 月 日	点検を行った 結 果	擁壁等が損壊するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
埋め立てる産業廃棄物の流出を 防止するための擁壁等	令和6年 12月4日	異常なし	—	—削除

ハ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第九号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	遮水工の遮水効果が低下するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
保有水等の埋立地からの浸出を防止するための遮水工、シート点検	令和6年 12月4日	異常なし	—	—

ニ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十号及び第十四号ハ並びにダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管理の基準を定める省令第一条第一号及び第三号ロの規定による水質検査に関する次に掲げる事項

(周縁井戸 A 又は地下水集排水設備)

(状況：令和6年度分)

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果(mg/ℓ)
アルキル水銀	検出されないこと。	第3管理型地下水上流部	令和6年8月16日	令和6年9月26日	不検出
総水銀	一リットルにつき0.000五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0005 未満
カドミウム	一リットルにつき0.00三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
鉛	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
六価クロム	一リットルにつき0.0五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
砒素	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
トリクロロエチレン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき0.0二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
四塩化炭素	一リットルにつき0.00二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・二ジクロロエタン	一リットルにつき0.00四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0004 未満
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき0.0四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004 未満
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき0.00六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき0.00二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
チウラム	一リットルにつき0.00六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満

シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001
一・四ジオキサン	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
クロロエチレン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
ダイオキシン類	1Pg-TEQ/L 以下	同上	同上	同上	0.057

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること

埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

塩化ビニルモノマーはクロロエチレンに呼称を変更した。(平成29年4月1日施行)

(周縁井戸B)

(状況：令和6年度分)

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果(mg/l)
アルキル水銀	検出されないこと。	第3管理型地下水下流部	令和6年8月16日	令和6年9月26日	不検出
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0005 未満
カドミウム	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・二ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0004 未満
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004 未満
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満

一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0006 未満
一・三ージクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0002 未満
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0006 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.002 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.001 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.001 未満
一・四ジオキサン	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.005 未満
クロロエチレン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0002 未満
ダイオキシン類	1Pg-TEQ/L以下	同 上	同 上	同 上	0.048

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること

埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

塩化ビニルモノマーはクロロエチレンに呼称を変更した。（平成29年4月1日施行）

(放流水)

(状況：令和6年度分)

放流水の水質検査	基 準	水質検査に係る放流水を採取した場所	水質検査に係る放流水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果(mg/l)
アルキル水銀化合物	検出されないこと	第3浸出水処理施設	令和6年8月16日	令和6年9月26日	不検出
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	一リットルにつき水銀〇・〇〇五ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0005 未満
カドミウム及び化合物	一リットルにつきカドミウム〇・〇三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.003 未満
鉛及びその化合物	一リットルにつき鉛〇・一ミリグラム以下	同 上	令和6年8月8日	令和6年8月23日	0.001
有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びメチルパラニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト（別名EPN）に限る。）	一リットルにつき一ミリグラム以下	同 上	令和6年8月16日	令和6年9月26日	0.1 未満
六価クロム化合物	一リットルにつき六価クロム〇・五ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.005 未満
砒素及びその化合物	一リットルにつき砒素〇・一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
シアン化合物	一リットルにつきシアン一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.1 未満

ポリ塩化ビフェニル	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.0005 未満
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.02 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.002 未満
一・二ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.004 未満
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.02 未満
シス一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・四ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.004 未満
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.03 未満
一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇六ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.006 未満
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.002 未満
チウラム	一リットルにつき〇・〇六ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.006 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.02 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
セレン及びその化合物	一リットルにつきセレン〇・一ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
ほう素及びその化合物	海域以外の公共用水域に排出されるもの一リットルにつき、当分の間、ほう素五〇ミリグラム以下 海域に排出されるもの一リットルにつき、当分の間、ほう素二三〇ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	13
ふっ素及びその化合物	一リットルにつきふっ素一五ミリグラム以下(海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする。)	同 上	同 上	同 上	0.57
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	一リットルにつき、当分の間、アンモニア性窒素に〇・四を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量二〇〇ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	34
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	一リットルにつき五ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.5 未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	一リットルにつき三〇ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.5 未満
フェノール類含有量	一リットルにつき五ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.1 未満
銅含有量	一リットルにつき三ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.01 未満
亜鉛含有量	一リットルにつき二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.07
溶解性鉄含有量	一リットルにつき一〇ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.3 未満
溶解性マンガン含有量	一リットルにつき一〇ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	2.1
クロム含有量	一リットルにつき二ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.005 未満
リン含有量	一リットルにつき一六(日間平均八)ミリグラム以下	同 上	同 上	同 上	0.05 未満

1・四ジオキサン	一リットルにつき〇・五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.05 未満
ダイオキシン類	1Pg-TEQ/L 以下	同上	同上	同上	0.000057
水素イオン濃度（水素指数）	海域以外の公用水域に排水されるもの五・八以上八・六以下	同上	令和6年8月8日	令和6年8月23日	6.9
生物化学的酸素要求量	一リットルにつき六〇ミリグラム以下	同上	同上	同上	2.4
浮遊物質	一リットルにつき六〇ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.8
大腸菌群数	一立方センチメートルにつき日間平均三、〇〇〇個以下	同上	同上	同上	0
窒素含有量	一リットルにつき一二〇（日間平均六〇）ミリグラム以下	同上	同上	同上	46
備考					
<p>1 「検出されないこと」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。</p> <p>2 「日間平均」による排水基準値は、一日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。</p> <p>3 海域及び湖沼に排出される放流水については生物化学的酸素要求量を除き、それ以外の公用水域に排出される放流水については化学的酸素要求量を除く。</p> <p>4 窒素含有量についての排水基準は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であって水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公用水域に排出される排水に限って適用する。</p> <p>5 燐含有量についての排水基準は、燐が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公用水域に排出される排水に限って適用する。</p>					

周縁井戸 A 又は地下水集排水設備

（状況：令和6年度分）

令和6年度	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
				電気伝導率（mS/m）
4月	第3管理型地下水上流部	令和6年04月10日	令和6年04月10日	7.9
5月	同上	令和6年05月15日	令和6年05月15日	9.6
6月	同上	令和6年06月05日	令和6年06月05日	9.0
7月	同上	令和6年07月11日	令和6年07月11日	9.1
8月	同上	令和6年08月08日	令和6年08月08日	9.2
9月	同上	令和6年09月12日	令和6年09月12日	9.1
10月	同上	令和6年10月10日	令和6年10月10日	9.0
11月	同上	令和6年11月06日	令和6年11月06日	9.4
12月	同上	令和6年12月04日	令和6年12月04日	8.6
1月	同上	令和7年01月日	令和7年01月日	
2月	同上	令和7年02月日	令和7年02月日	
3月	同上	令和7年03月日	令和7年03月日	

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。
 窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

(周縁井戸B)

(状況：令和6年度分)

令和6年度	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果	
				電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン (mg/l)
4月	第3管理型地下水下流部	令和6年04月10日	令和6年04月10日	5.7	5.4
5月	同上	令和6年05月15日	令和6年05月15日	5.5	4.4
6月	同上	令和6年06月05日	令和6年06月05日	9.3	6.7
7月	同上	令和6年07月11日	令和6年07月11日	7.5	7.9
8月	同上	令和6年08月08日	令和6年08月08日	7.0	4.8
9月	同上	令和6年09月12日	令和6年09月12日	6.0	3.3
10月	同上	令和6年10月10日	令和6年10月10日	4.9	2.6
11月	同上	令和6年11月06日	令和6年11月06日	6.3	7.5
12月	同上	令和6年12月04日	令和6年12月04日	5.6	7.1
1月	同上	令和7年01月日	令和7年01月日		
2月	同上	令和7年02月日	令和7年02月日		
3月	同上	令和7年03月日	令和7年03月日		

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。
 窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

(放流水)

(状況：令和6年度分)

令和6年度	水質検査に係る放流水を採取した場所	水質検査に係る放流水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果				
				水素イオン濃度 (PH)	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	浮遊物質質量 (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質量 (mg/l)	窒素含有量 (mg/l)
4月	第3浸出水処理施設	令和6年04月10日	令和6年04月22日	6.9	6.4	0.6	0.5未満	44

5月	同上	令和6年05月15日	令和6年05月27日	7.2	1.8	0.5未満	0.5未満	40
6月	同上	令和6年06月05日	令和6年06月17日	6.9	1.2	0.5未満	0.5未満	40
7月	同上	令和6年07月11日	令和6年07月23日	7.0	2.1	0.5未満	0.5未満	49
8月	同上	令和6年08月08日	令和6年08月23日	6.9	2.4	0.8	0.5未満	46
9月	同上	令和6年09月20日	令和6年09月30日	7.3	0.5	0.5	0.5未満	43
10月	同上	令和6年10月10日	令和6年10月28日	7.3	1.5	0.8	0.5未満	48
11月	同上	令和6年11月06日	令和6年11月20日	6.9	2.2	0.9	0.5未満	50
12月	同上	令和6年12月04日	令和6年12月18日	7.2	1.4	0.5	0.5未満	65
1月	同上	令和7年01月日	令和7年01月日					
2月	同上	令和7年02月日	令和7年02月日					
3月	同上	令和7年03月日	令和7年03月日					

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。

窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

ホ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十一号及び第一条第二号の維持管理の技術上の基準による措置に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場以外にあることが明らかであるものを除く。）が認められた場合	該当なし	—	—

ヘ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十三号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	調整池が損壊するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
浸出液処理設備に流入する保有水等の水量及び水質を調整することができる耐水構造の調整池	令和6年12月4日	異常なし	—	—

ト 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十四号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	浸出液処理設備の機能に異状が認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
浸出液処理設備の機能の状態	令和6年 12月4日	異常なし	—	—

チ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十四号の二の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：令和6年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	有効な防凍のための措置の状況に異状が認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
有効な防凍のための措置の状況	令和6年 12月4日	異常なし	—	—

リ 最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第二条第二項第三号の規定によりその例によることとされた最終処分場に係る技術上の基準を定める省令第一条第二項第十九号の規定による測定を行った年月日及びその結果

(状況：令和5年度分)

項目	測定を行った年月日	測定を行った結果
残余の埋立容量の測定	令和6年9月30日	96,455 m ³

(状況：令和6年度分 公表の期限：措置を講じた日の属する月の翌月の末日)